

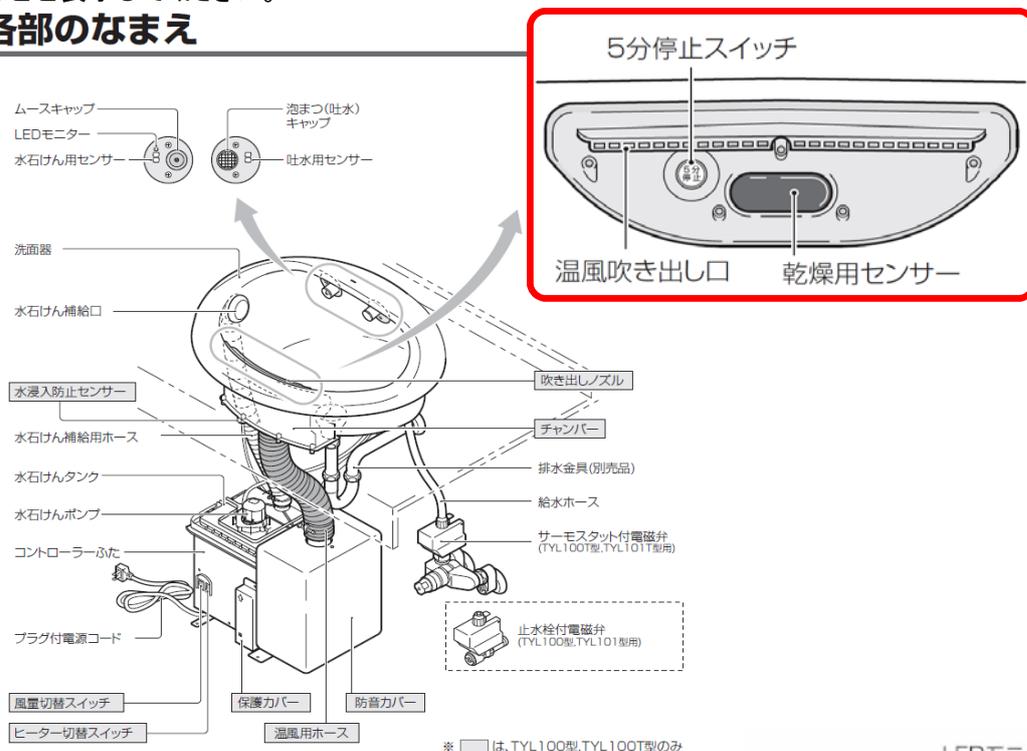
オートボウル(TYL100型/102型)の乾燥機能停止方法について

オートボウルの乾燥機能を停止させる方法につきまして、以下の通りご案内申し上げます。
実施につきましてはお客様にてご判断いただき、現場責任で対応いただくようお願いいたします。

<対応方法>

温風吹き出し口の乾燥用センサー部にビニールテープ(透明以外)を貼り付けてください。
乾燥機能停止により、利用されるお客様に故障と思われるおそれがあるため、「乾燥機能停止中」
などと表示してください。

各部のなまえ



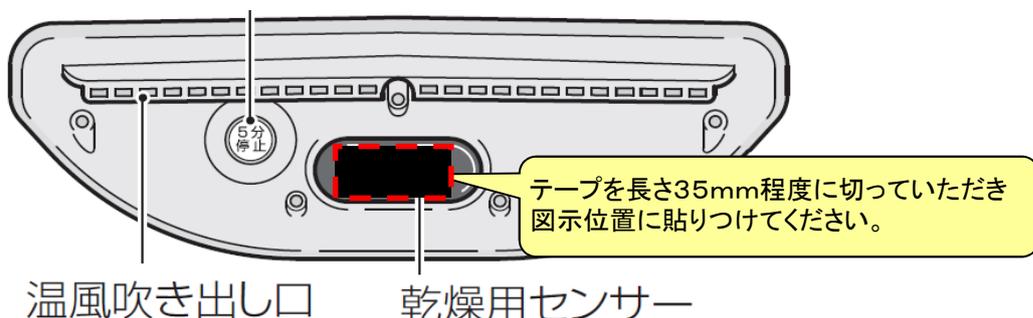
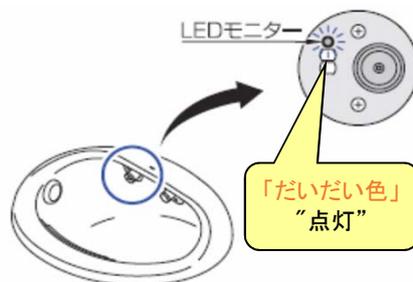
<作業内容>

- 1) 5分停止スイッチを長押ししてください(2秒程度)。
停止すると、LEDモニター部に「だいだい色」が「点灯」します。
* 約5分間乾燥機能が停止した後、自動的に「解除」
されます。下記作業中に「解除」された場合は再度
5分停止スイッチを押して乾燥機能を停止させてから
作業してください。

「解除」されると、LEDモニター部の「だいだい色」が「消灯」します。
尚、乾燥機能停止途中で「解除」する場合は5分停止
スイッチを押してください。

(注意) 乾燥機能停止状態でも、吐水動作は行います。

- 2) 乾燥用センサー部に準備したテープを貼りつけます。
* 貼りつける前に乾燥用センサー部表面の汚れをふき取ってください。※<お手入れ方法>参照



<作業内容>つづき

- 3) テープを貼り終わったら、5分停止スイッチを押して、5分間停止を「解除」してください。
「解除」されると、LEDモニター部の「だいだい色」が“消灯”します。
- 4) 乾燥用センサー前に手をかざして、乾燥動作しないことを確認してください。
手をかざしても乾燥風が出てこなければ、作業完了です。乾燥風が出てくる場合はテープをもう一枚上貼りしてください。

<作業完了後の日常管理について>

乾燥機能を停止しても、「吐水」、「水石けん」による手洗い動作は行われますので、定期的な清掃は行ってください。
清掃時に使用する洗剤やふき掃除により、テープが剥がれた場合はお手数ですが前述の作業内容を再度行ってください。

<復旧方法>

- 1) 5分停止スイッチを長押ししてください(2秒程度)。
- 2) 乾燥用センサーに貼りつけたテープを剥がしてください。
剥がした際にテープの糊などが残った場合は、適量にうすめた中性洗剤をしみこませたやわらかい布でふき、その後、水ぶきしてから乾いた布で、水分をきれいにふきとってください。
- 3) 5分停止スイッチを押して、5分間停止を「解除」してください。
- 4) 乾燥用センサー前に手をかざして、乾燥動作することを確認してください。

<お手入れ方法> ※取扱説明書より抜粋

お願い

表面を侵したり、破損や傷をつけたりするおそれがあるものは、使用しないでください。
・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤シンナー、ベンジンなどの溶剤
・トイレ・バス・タイル用洗剤・塩素系洗剤
変色や割れの原因になります。
・クレンザー、ナイロンたわし、クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
傷の原因になります。

定期的なお手入れ(1カ月に1回程度)

■ 水石けん用センサー、吐水用センサー、乾燥用センサー (汚れが目立ってきた場合)

- 軽い汚れの場合
乾いた柔らかい布などでふいてください。
- ひどい汚れの場合
適量にうすめた中性洗剤をしみこませた柔らかい布でふき、その後、水ぶきしてから乾いた布で、水分をきれいにふき取ってください。

お願い

センサー表面は、傷つけないよう注意してください。
センサー部の汚れは、感知不良や誤動作を引き起こす原因となります。

